

ロングアドベンチャー

8月4日(木) ~ 8月9日(火)

IN 国立曽爾青少年自然の家

	午前	午後	夜
1日目	施設に向けて出発	仲間づくりゲーム	キャンドルサービス
2日目	野外炊飯	野外炊飯・グループタイム	振り返り・スタンツ練習
3日目	川遊び	グループタイム	ナイトハイク・振り返り
4日目	野外炊飯	ファミリータイム	買い出し・振り返り
5日目	登山	登山	キャンドルサービス
6日目	清掃・思い出工作	施設を出発・解散	

一日目： 尼崎で全体集合時、メンバーは少し緊張されている様子が伺えましたが、バスに乗るとテンションは徐々に上がっていき、元気よく施設に向かいました。施設に到着し、お弁当を食べた後、これから共にする関係作りのためにレクリエーションを行いました。お互いの名前を覚えようと努力する姿や、グループのメンバー同士で話し合う姿が見られました。その後は【キャンプの過ごし方】についてみんなで話し合いました。「家族のような関係を作って欲しい。」を合言葉に、六日間頑張ってくださいます。最後に、施設の使い方の説明を受け、食堂にて夕飯をいただきました。夜のプログラムは【キャンドルサービス】を行いました。リーダーが行うゲームを楽しんだ後は、五日目のキャンプファイアに向けて、【スタンツ(出し物)】を決めてもらいます。空き時間や、毎夜に頑張ってくださいますので、本番当日が楽しみです。初めてのお泊まりになるので、なかなか寝付けない様子が伺えましたが、しばらくするとお休みになられました。



二日目： 今日朝食を食堂でいただき、昼食と夕食は屋外で調理の日です。昼食は野外炊飯では定番の“カレー”に挑戦しました。何度か経験のあるメンバーもおられ、スムーズに進みました。かまどの火起こしについては、火起こし担当のメンバーで火の起こし方を確認し、雨に苦戦しながらも自分たちで火を起こすことが出来ました。どのグループも水の量や具材の大きさを考えておられ、美味しいトロトロのカレーが完成しました。どのグループも美味しく仕上がったので、残すことなく完食されていました。カレーの片付け後は、夕食作りまでの間に四日目の【ファミリータイム】についての説明を行い、各グループでやりたいことを話し合いました。その後の夕食作りは“ドリア”に挑戦しました。カレー作りとは違う係に挑戦し、担当したことのある係をメンバー同士教え合いながら調理する姿が見られました。仕上げはバーナーを使ってチーズをこんがりさせ、完成です！調味料が足らず、素材の味が大きく出ましたが、こちらも昼食同様完食出来ました。片付けに少し苦戦しましたが、全員率先して片付けに取り組んでいました。することが見つからないメンバーに対して、「○○手伝って。」とメンバー同士で声を掛け合っているところに早速の成長が生まれました。就寝前には、毎夜【アドベンチャータイム】という振り返りを行います。こちらはグループ内で一日の出来事を振り返り、その時々々の皆の動きや自身の動きを振り返り、友達のステキだった言動や行動をメモに残し渡し合います。そうして、六日間の自身の認められた頑張りが貯まっていきます。二日目にして、それぞれしっかりと振り返りが出来ており、沢山の交換を確認することが出来ました。

三日目： 今日のメインプログラムは川遊びです。楽しみにされていたメンバーも多く、朝からテンションは高めです。食堂で朝食を済ませ、いよいよ出発です！川遊びをする場所は施設からマイクロバスに乗って15分程です。準備体操、注意説明を受けた後は、全員が冷たい川で全身びしょ濡れになるくらい遊びました。お互いに水をかけ合ったり、思いっきり泳いだりして楽しみました。グループのメンバーに限らず、みんなで楽しむことが出来た時間でした。天候が崩れてきたので、予定の時間より早めに施設に戻りました。午後は川遊びでの疲れが見られたので休息をとりました。ベッドで休まれたり、スタンプの話し合いをしたり、各グループで相談して行動しました。夜はなんとか天候も落ち着いたので、ナイトハイクに出掛けました。日中とは違う夜の高原に少し戸惑いながらも、夜の澄んだ風の音や葉がすれる音を感じました。施設に戻り、入浴を済ませ、アドベンチャータイムをしっかりと行い、布団に入るとすぐに寝息が聞こえてきました。



四日目： あっという間に五泊六日の後半スタートです。今日は朝食に“バックドック”を作ります！作り方は、経験のあるメンバーが自分から立候補して、みんなに説明してくれました。不慣れながらも一生懸命な姿は、周りのメンバーに良い刺激を与えてくださいました。美味しくてほとんどのメンバーがおかわりをされていました。食べ終わったグループからスタンプの準備を行い、その後の昼食も野外炊飯で“お好み焼き”を作ります。焼き始めるまでに沢山の食材を切ったり混ぜたり、少し苦戦すると予想していましたが、グループごとに上手く役割を分けて、手際よく作られていました。午後は楽しみにしていた【ファミリータイム】です。みんなで「体を動かして楽しめる時間にしよう。」と話し合いで決め、各グループから希望の遊びを一つずつ出し合って楽しみました。どのグループもメンバーの年齢差や得意不得意を考慮してルールを工夫されており、みんなで温かい時間にする事が出来ました。夜は食事、入浴を済ませ、明日の登山を頑張るためのものを買出しに出かけました。みんなで食べられるお菓子や飲み物を購入し、明日の登山の準備はバッチリです！施設に戻ってからは、「明日、どんな登山にしたいか。」、「そのために一人一人何をするのか。」を決め、緊張感が漂う中、一日を終えました。



五日目： いよいよキャンプも終盤に差し掛かってきました。今日はこのキャンプの集大成、【登山】です。出発前に「何のために登山に行くのか。」、「このキャンプが終わった時にどんな自分でありたいか。」をじっくりと話し合いました。話し合いを終えると、今までとは一味違う気合いに満ちた目をされる方が多くいました。今回の登山はいきなり長い階段や急な岩場を登るハードな道のりでしたが、前向きな言葉がけや楽しもうとする言葉が聞こえてきました。途中、三重県の山麓を望める絶景ポイントに到着しました。そこでは、本当に気持ちよさそうに、そして登山の醍醐味を体いっぱい感じておられる様子が伺えました。下山途中に通り雨に遭い、ペースが大きく遅れてしまいました。その結果、残念ながら夕食の時間の都合で最後まで登り切ることは出来ずに終わってしまいました。しかし、どのグループも自分自身やグループメンバーと向き合うことが出来た登山であり、メンバーの表情は悔しい気持ちと満足した気持ちが表れていました。最後の夜のプログラムは、スタンプ発表の舞台である【キャンドルサービス】です。これまでに何度も話し合い、練習されてきた成果を見せていただきました。クイズやみん



なで挑戦するレクリエーションなどを披露されました。メンバーたちの前で堂々と話したり、説明をしたりする姿に、この五日間でお互いに信頼し合える関係を作ってきたことが感じられました。最後まで温かい雰囲気の中で実施することが出来ました。全てのスタンプが終わり、最後は皆でキャンドルを囲んでキャンプを振り返りました。これまでのお祭りのような気持ちではなく、この五日間を胸に刻み、しみりとした空気で最後の夜が終わりました。



六日目： いよいよ最終日。朝から片付けのため、忙しく動きました。ロングのメンバーは他のキャンプを何度も経験されている方が多く、こちら側から指示を出さずとも動いている方や、周りのメンバーを手伝う方が沢山おられました。朝食を済ませ、最後のプログラム、【思い出工作】です。グループ人数分のプレゼントを施設周辺の自然から見つけ、グループメンバー一人一人に六日間の想いを添えて贈ります。一人一人に感謝の言葉や嬉しかった事、楽しかった事を伝えておられました。渡す側ももらう側も嬉しそうな表情や照れ臭そうな表情が伺えました。残りの時間は六日間を通して行ってきたメッセージカードをたくさん贈られたり、もらったり、とても温かい時間を過ごされていました。みんなで円になって最後の昼食を済ませると、ついに出発です。解散時には「またキャンプで会おうね！」という約束をして、お互いの名前を呼んだり、握手を交わしたり、「またねー!!」と元気よく手を振ったりされている姿が見られました。



<キャンプ総括>

今回のロングアドベンチャーのテーマとして、【家族のような仲間】を訴えてきました。家族は本当に追い詰められた時に、一番心配して手を差し伸べてくれる存在であると伝え、それだけお互いを思い合うような関係作りを行いました。キャンプ前半はただ仲が良い、本気で周りのことを考えている様子は伺えませんでした。四日目ぐらいから真剣な目をされる方が増えてきました。メンバーが困っていたり、しんどそうにしたりしていると、真っ先に手を差し伸べたり、本気で心配したり、時には言いにくいことも伝えたり、少しずつ家族に近づいていくのを感じました。家族ゆえに課題や問題も沢山起こりました。それも家族のような間柄だからこそ乗り越えられると考えております。今回のキャンプにご参加いただいた事で更なるご成長をされることを切に願っております。そして、来年もみなさんにお会いし、一つお兄さん、お姉さんになった家族に再会出来ることを楽しみにしております。

(長 あかり)